

《奈良ブランド開発支援事業》

＜内容＞

- 下請け等を中心とする県内の中小企業が対象
- 「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを共有
- 「勉強会」と「TEIBAN展」という取り組みの中で、ブランディングの手法を学び、切磋琢磨するプラットフォーム

**「地域経済の活性化策【奈良ブランド開発支援事業】」
仕組みとして、「2018年度グッドデザイン賞」受賞**

<http://www.pref.nara.jp/43989.htm>

商業・サービス産業課
TEL0742-31-9084

1. 事業の仕組み

BtoCの発想で、個々のブラッシュアップを図っていく。

■ ブラッシュアップミーティング<毎月1回>

多種多様な業種の事業者が参加。個々のブランドへの考え方や想いが想定する顧客層から支持される、あるいは共感される内容になっているかどうか、その内容のブラッシュアップを図るためのトレーニングの場になります。



■ 展示会(TEIBAN展 東京等)

ブラッシュアップミーティングにおいてブランド構築に向けての個性を見出したら、この展示会においてブランドの世界観を披露して、ブランドの想いを伝えることを実践。



PDCA(計画⇒実行⇒検証⇒改善し行動)のサイクルを回していく

2. 事業まとめ



奈良ブランド開発支援事業は、従来型の地域ブランドとは異なり、モノ単体の開発ではなく、モノ、サービス、空間など全てのコントロールによってブランド化を目指し、共感するファンを獲得しようとする企業を支援しています。

ブランドの最終目標を「共感するファンを獲得すること」と設定し、そのためにブランディングという手法を駆使しながら、独自の価値観を体現し、ブラッシュアップを繰り返すことによって、「魅力ある個性」を生み出し、そのブランドに共感する「ファン」を獲得していきます。

ブラッシュアップミーティングで「魅力ある個性」を見出した事業者は、個々の世界観を構築しTEIBAN展で体現することで顧客とつながる距離をショートカットしていきます。

それらによって個々のブランド化を図ろうとする仕組みです。